

# いわの大地



## 大東地域

道の駅だいつう

統括マネージャー

小野寺 伸吾さん

令和7年4月「道の駅だいつう」が  
グランドオープンした。市内4カ所  
目となる道の駅で、産直施設のほか、  
レストランや交流スペース、キッズス  
ペースなども備えた複合施設。地元  
の魅力を詰め込んだ、にぎわいの拠  
点として注目されている。

統括マネージャーを務める小野寺  
さんは、地元大東で菜種油を製造・  
販売する会社を営んできた。道の駅  
開業にあたり、生産者から「ぜひ運  
営に関わってほしい」との声が相次  
ぎ、運営の責任者を引き受けること  
に。現在は品ぞろえやイベントの企  
画、レストランのメニュー開発など、  
道の駅全体の運営を担っている。

朝7時、生産者が採れたて野菜を  
持ち込む時間に合わせて出勤し、店  
を出るのは締め業務後の夜7時過  
ぎ。さらに自身の会社経営もあるた  
め、夜は自社に戻って残務処理。  
「オープンから3カ月くらいはこん  
な毎日でした」と笑顔で振り返る。  
平日の昼下がりににもかかわらず



小野寺 伸吾さん

人々が行き交い、キッチンカーや  
キッズスペースの周りでは子供連れ  
の姿も目立つなど、地域に新たな賑  
わいを創出している。

「道の駅となったことで、来客層  
が広がり、若い世代も増えた。地域  
の人はもちろん、仕事や移動中の  
ちよつとしたくつろぎに、立ち寄っ  
てもらえる場所にしたい。」と想い  
を語る。

今後の課題は、販売する農産物の  
量や種類のさらなる充実。地域を問  
わず、意欲ある生産者に参加を呼び  
かけている。

農業委員 及川 務



# 「守り続ける実家の田畑」

# 農地を守る、地域を守る取り組み

高齢化や後継者不足による農業者人口の減少や耕作放棄地の増加など、様々な課題を抱える農業。その中で、農地や地域を守ろうとがんばる取り組みを紹介します。



永澤 吉男 さん

東山町松川の永澤吉男さんは、首都圏の自宅と、中山間地域の実家で二拠点生活を送りながら、先祖伝来の田畑を守ろうと奮闘している。

学校卒業後、地元の子機メーカーに就職したが、海外への転勤を命じられ通算10年間に及ぶ海外勤務を経験し、その後は東京の本社勤務となり長年にわたり都会生活をしてきた。その間、実家のことは母親や、近くに住む叔父に任せっきりだったため、定年を機に一念発起し、実家の田畑を耕作しようと決意した。

実家には毎年4月、農作業が始まる時期に合わせて単身帰省し、収穫を終える11月には都会に戻るというのがお決まりのライフスタイルで、このような生活も8年目を迎える。

家族の命を繋いでくれた掛け替えのない田畑を、絶やすことはできな

いという強い信念のもと、黙々と日々精を出している姿が、頼もしい限りである。

水稲の作付けに加えて、畑にはナス、ピーマン、キュウリ、夕顔、カボチャなど数々栽培しており、当然一人では食べきれないので、親戚、友人等に配っているそうです。

永澤さんは「手間はかかるが、収穫して食べた瞬間の感動は、何物にも代えがたい。田舎には都会では感じられない静けさと、豊かな自然があり心身が癒される。

次に繋げる対策を思索しつつ、健康で体が動く限り、実家の田畑を守り続けたい。」と意気込みを語った。

今後の益々のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

農地利用最適化推進委員 小野 修司



# 「地元に戻り新規就農」



小山 健司さん

室根町折壁の小山健司さんは、高校を卒業後、東京の大学に進学し都会で暮らしていたが、3年前に花き農家をしていた父親が亡くなったことをきっかけに地元に戻った。

父親が残していた設備や農地があることから、市の研修制度や補助制度を活用し、農業大学校や地元の花き農家で学び、令和7年3月に認定新規就農者となった。現在は、露地栽培で小菊32㍎、ハウスでスターチス1㍎を栽培している。

燃料や肥料、農業等生産資材の高騰により厳しい経営環境であるが、近年の猛暑により、開花時期がずれないよう播種定植時期に気を配るなど、自分の納得できる品質にするため、日々努力を惜しまない。地域の担い手としてさらなる活躍が期待されます。

農業委員 鈴木 耕多



## 「農地パトロールを 実施します」

農業委員会では、農地の利用状況の確認と、遊休農地の実態把握のため、9月まで農地パトロールを実施します。調査の際には、農業委員及び農地利用最適化推進委員が農地などに立ち入ることもありますので、調査にご協力をお願いします。

この調査で、過去一年以上耕作されず草刈りなどの維持管理もされていない農地は、遊休農地と判断されます。これらの農地の所有者の方には、農地の利用意向調査の文書を送付しますので、受け取った方は期限までに必ず回答してください。

農地を遊休農地化させないためにも、農家の皆さんには日頃から適切な管理をお願いします。

農地についてお困りのことがありましたら、地域の農業委員・農地利用最適化推進委員、農業委員会事務局、本庁農政推進課または各支所産業建設課にご相談ください。



花泉地域の農地パトロール出発式

「農地の適切な管理を」



川崎地域の農地パトロール

# 農業者年金で明るい将来計画!

**本当に嬉しいねえ!**  
**農業者年金パワーで、明るい展望を**

葛西信昭さんは、経営する「有限会社かさい農産」から役員報酬を得ているが、それでも「農業者年金をもらうのは本当に有難い。掛けていてよかった。」と語る。「使い道はいろいろあるが、このうれしさをパワーにして、会社の今後の展望を考える余裕と力になっている。」と話す。

葛西さんは、「若い時は年金を収めるのは大変だが、受け取る年齢になると、これまでの苦勞が報われるばかりではなく、これから生きる力をもらえる。これぞ農業者年金パワーだ。」

若い農業者の皆さんは、自ら会社を興し（法人化して）、そこで年金を納める方法も良いと思う。新たな農業の形を目指し頑張つてほしい。また、将来特に老後の生活設計に農業者年金をぜひ生かしてほしい。」と語る。

農地利用最適化推進委員 小山 範輝



【川崎地域】 葛西 信昭 さん

農業者年金のお問い合わせは  
農業委員会またはお近くのJA窓口へ  
電話 43-3606 (一関市農業委員会)

## 【農業者年金で老後も安心!】

あなたの老後生活の備えは十分ですか？  
家族で農業者年金に加入し、豊かな老後生活のために備えましょう。



### 1 農業者であれば広く加入でき、加入・脱退も自由!

- ① 加入資格は以下の3つです。
- ② 年間60日以上農業に従事、
- ③ 国民年金第1号被保険者、
- ④ 20〜64歳の方

### 2 「積立方式・確定拠出型」などの少子高齢時代でも安心!

### 3 終身年金で、死亡一時金もあります。

終身年金ですので生涯一定の収入が確保されます。

80歳前に亡くなられた場合は死亡一時金が遺族に支給されます。

### 4 税制面で優遇措置!

支払った保険料は全額社会保険料控除の対象です。

### 5 若い農業者には国庫補助も!

認定農業者等の条件を満たす方は、最大1万円の国庫補助が受けられます。

## 編集後記



新たに農業委員となって半年以上が過ぎ、少しずつ農地に関する手続き等に慣れてきた。工作上、農地を見回る機会が多々あるが、昨年まで作付されていた田んぼが今年は作付されていない所に出会うことがある。また、こういった田んぼは狭隘で機械化による作業効率を上げにくい場所が多い。

折しも昨年から続く米不足、価格高騰問題が、備蓄米を放出するという事態となった、いわゆる「令和の米騒動」が日々話題となっている。

備蓄米の役割・効果が色々話題になっているが、いずれにせよ、平時から備えておくことが大切である。

先の耕作されなくなった田んぼも、何らかの理由で稲作の継続を止めたのであろうが、たとえ販売しない米づくりだったとしても、一種の備蓄米に相当する役割を担ってきたんだなと思いつらしてしまふ。

農業委員 後藤 修

### 「いわいの大地」編集委員

編集委員長 小山 範輝 (川崎)  
副委員長 遠藤 真一 (千厩)  
編集委員 阿部 久美子 (一関)  
及川 治雄 (花泉)  
及川 務 (大東)  
小野 修司 (東山)  
鈴木 耕多 (室根)  
後藤 修 (藤沢)

